

**岡山県相談支援専門員協会 新型コロナウイルス感染症対策
相談支援専門員のモデルとなる環境づくりWG 報告書**

取り組みの経過

第1回会議

1. 意見交換

- ・緊急時に備えた環境・体制づくりが必要。
- ・相談支援専門員が置かれている立場(運営主体・所属法人・体制など)は違うが、環境づくりについて、モデルとして活用してもらえるようなものを示すことが目的。
- ・想定される場面ごとに必要な物品などを示すことで、緊急包括支援事業が活用しやすくなる。
- ・感染予防や現地への立ち入り、またテレワークなども視野に入れた体制とそれに必要な物品の準備。
- ・相談支援事業所ガイドラインとのすり合わせや連動も必要になってくる。

2. 主な取り組み

- ・現時点で考えられる環境づくりについて、個人・事業所レベルと地域レベル、それぞれにおいて必要な物品・体制・再開に向けての準備を表にまとめる。
- ・緊急包括支援事業の活用モデルについては、秋頃の完成を目指す。

第2回会議

1. 意見交換

- 相談支援事業所ガイドラインとの連動。内容が重なる部分もあるが、ガイドラインは相談支援専門員の個々の動きが中心で、体制整備については、環境づくりの方でまとめる。
- 緊急包括支援事業(障害福祉サービス等分)の活用モデルの作成・提示について。
 - ・事業について、まだ十分に情報が行き届いていない面もあるのでは。100万円ほど使える事業所も多い。特に赤字傾向の事業所などでは、物品購入ができるチャンスであり、メリットも多いと思われる。
 - ・使い方の工夫やモデル提示をすることで、利用促進につながる。
 - ・すでに活用している事業所の活用実績をもとに、モデルを作ってみる。

2. 主な取り組み

- ・前回まとめた表については、相談支援事業所ガイドラインに添付。

- ・緊急包括支援事業の活用例については、モデルとして2事業所をピックアップし、取り組んでもらう。画期的な活用例なども挙げられたら。

第3回会議

1. 意見交換

- ・活用モデルの作成に、2事業所(県南1・県北1)が協力してくれ、複数回の話し合いにより、活用モデルを作成。内容について意見交換。
- ・新型コロナウイルス感染症対策について、他のWGの進捗確認や意見交換。

2. 主な取り組み

- ・会員への情報発信をしていく。
- ・活用モデルの作成。

環境整備

A事業所
感染防止に関する環境整備 購入物品リスト

特定相談		60,000		
	物品名	価格	購入目的	申請
1	ポリガウン	1,738	体調不良者への対応時に着用。	
2	自動消毒器	12,100	来訪時の消毒のため。	
3	エタノール	4,554	感染予防のため。	
4	アルコールタオル	4,770	感染予防のため。	
5	非接触型体温計	5,288	スタッフ及び来訪者の体温確認。	
6	ポリエチレン手袋	734	体調不良者への対応時に着用。	
7	フェイスマスク	792	感染予防のため。(来訪者用予備)	
	合計	29,976		
	差し引き金額	30,024		

B事業所
感染防止に関する環境整備 購入物品リスト

特定相談		60,000		
	物品名	価格	購入目的	申請
1	自動アルコールディスペンサー	21,000	来所者の手指消毒用のため	
2	非接触型体温計(2台)	10,000	来所者及び職員の健康状況の把握のため	
3	消毒用アルコール	8,000	来所者の手指消毒用	
4	使い捨てポリエチレングウン	5,000	体調不良者の対応用	
5	プラスチックグローブ	3,000	体調不良者の対応用	
6	受付台	8,500	来所者受付表及び体温計の設置のため	
	合計	55,500		
	差し引き金額	4,500		

再開支援

A事業所 特定相談支援事業 購入物品リスト

	物品名	価格	購入目的	申請
1	モバイルプリンター	30,778	訪問先での書類作成(修正)をおこない、訪問回数(接触回数)を減らす。 在宅勤務で対応できるようにするため。	
2	モバイルプリンターバッテリー	9,438		
3	パーテーション	41,580	事業所内の面談室を仕切る。	
4	タブレット	19,580	必要書類等を写真でやり取りや、リモートでの面談等ができるようにし、必要最低限の訪問におさえるため。	
5	アクリル板	24,200	面談室及び事務所での飛沫感染を防ぐため。	
合計金額		125,576	円	
		総額		125,576 円

B事業所 特定相談支援事業 購入物品リスト

	物品名	価格	購入目的	申請
1	ノートパソコン	130,000	オンライン会議や、現地で修正を行い、直接接触や訪問回数を減らすことを目的とする	
2	モバイルプリンター	30,000		
3	オフィスソフト	38,500		
合計金額		198,500	円	

地域移行支援 購入物品リスト

	物品名	価格	購入目的	申請
1	自転車(2台)	44,000	院外等への外出の付き添い時に密室空間になることを防ぐため	
2	記憶媒体(3台)	24,000	安全なデータ保管のため、大容量のリモート用記憶媒体を購入する。	
3	スピーカーフォン会議用マイク	13,000	オンライン会議環境を整備するためのマイク	
合計金額		81000	円	

自立訓練 購入物品リスト

	物品名	価格	購入目的	申請
1	タブレット	150,000	訪問時に書類等の控えを取ることやその場で記録をとる	
2	PC関連付属機器	13,000	周辺機器の接続に必要な機材の購入	
3	記憶媒体(2台)	16,000	安全なデータ保管のため、大容量のリモート用記憶媒体を購入する。	
4	折り畳み自転車	20,000	近隣の外外出同行時に車移動による密室空間を作ることをさけるため	
合計金額		199,000	円	
		総額		478,500 円

・事業を活用して見えてきたこと。

→相談支援業務自体がもともと電話とパソコンなどがあれば業務が完結しやすい事業であることから、リモートワークへ対応がしやすい事業であると感じられた。そういった中では、必要となる物品についても基本的には訪問時に利用する防護用物品、モバイル物品の購入が中心となった。仕事が職場でなくても可能となってくることから、より自身の公私の切り替えや、仕事の仕方、やったことに対する評価や成果の出し方などを考えていく必要があるという感想を持った。